

開成の杜

第104号 ●2017年10月4日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



秋の夜長に徒然と



理事長・学園長
関口 修

長雨による蒸し暑さばかりが心に残った夏の日々から、茜色に染まる夕焼けが美しい季節と移りだしている風情に、安らぎを感じるのには私ばかりではなからうと思えます。

美しい花を咲かせた開成山の桜に名残を惜しみ、小川の水が温み、其処かしこの田圃に水が張られて田植えへの期待に心弾んだことが思い出されます。

学生・生徒・園児による田植えが、JA福島さくら結城組合長、宗形本部長をはじめ職員の皆様による温かい御協力により感謝をもつて、田植えをすませ、さらにはイチゴ狩りまで体験させていただきました。以来、学生や生徒は長雨の日々に稲の生育を心配していたように聞いておりました。

気候不順による災害は世界中に発生し、人々を苦しめていますが、温暖化による気候変動など、それは21世紀になって起こったことではないように思います。

春まだ浅い時季の黄砂は自然のなせる季節の変わり目かも知れませんが、呼吸困難を招きそうな、中国の煤煙は人間生活の在り方によるもので、苦言を呈したのが、歴史を紐とぎ、省みなければなりません。我々日本に於いても、現在の発展にいたる過程では、公害や自然災害の原因となった

行いを無作為に行ったのではないかと考えられます。人間が今日のように発達した社会を形成する過程には、結果的に数多の犠牲に目を背けてきたと思えてなりません。

我が国が戦争に敗れ、日々の暮らしにはその時々を凌ぐ家すらなかった人々が多く在りました。そこから70年余、様々な犠牲と人間の向上心を基底とした弛まぬ努力によって、私たちの生活は成り立ってきたと云えます。

現代の科学技術は目覚ましいものがあることは何人も否定は出来ないでしょう。コンピュータ技術の進歩はAIロボットを生みだし、技術の悪用も生みだしています。

このように人間の生活は混沌とした状況の流れに漂う小舟のように、自然と人間が創りあげた環境に揺られ続け、自分らしさを求めているのではないのでしょうか。

日進月歩、科学技術の進歩を基盤とした多様な商品に溢れ、物欲を煽るコマースやリズムは人間と物との拘りを再構築すべき時代にあると考えるればなりません。

今は実りの秋、物質文明の実りを求めるよりも、それらを受け止める心の実りを求めるべき時季なのではないでしょうか。読書の秋、月の明かりで教養を豊かにしたいものです。

小野町と包括連携協定を締結

共同で特産品開発や子育て支援に取り組み



小野町との包括連携協定調印式

本学園(関口修理理事長)は小野町(大和田昭町長)と8月21日、地域社会及び相互の発展を目指し、包括的に連携するため、協定を締結した。共同で特産品の開発や子育て支援などに取り組み、人口減少などの地域の課題に対応するのが目的。

協定内容は、①子育て環境の向上に関すること。②人材育成・人材確保に関すること。③健康栄養及び福祉の増進に関すること。

④食の安全・食品開発に関すること。
⑤地域創成に関することなど。⑥その他協定の目的を達成するため必要な分野に関すること。

現在、小野町の特産品「黒にんにく」を活用した商品開発を進めている他、今後は同町出身で名誉町民の小泉武夫東京農大名誉教授の助言を受けながら塩こうじの研究を行う。食生活改善による健康寿命の延伸や幼児教育分野での連携などを模索していく方針。

締結式は町役場で行われ、本学から関口理事長、影山副学長、石村副学長、降矢事務長、先崎准教授、小野町からは大和田町長が出席した。関口理事長は「研究成果を地域に還元し、町の発展に寄与したい」と述べた。

第53回学園教育充実研究会 職能の更なる向上を目指して



磯部哲夫委員長

第53回学園教育充実研究会(大・学・短大・事務局職員)が8月29日、本学園建学記念講堂を主会場に開催された。本年度のテーマは「年に引き続き「職能の更なる向上を目指して」とした。教職員が協力して大学の教育機能・環境の向上に組織的に取り組むため、個々の職能の更なる向上を目指すというものである。昨年度と同様にFD部門とSD

部門に分かれて研修会を開き、互いの職能の研鑽を目的とした。

大会当日、FD部門の午前の部は、授業における学修成果の客観的な評価方法の一つであるルーブリック評価に焦点をあて、西野毅朗氏(京都橋大学現代ビジネス学部経営学科講師)による、「授業改善をいかに進めるか」、「ルーブリックの意義と活用事例」と題する研修会を実施した。授業改善について、またルーブリックの活用について、積極的に講演者とコミュニケーションを取りながら研修を行っていた。午後の部は、「アセスメントポリシーとしてのルーブリックを作成しよう」―ディプロマポリシーを基にしたルーブリック作り―、と題し学科別ディスカッションお

よびポスター作成・発表を行った。午前の部の研修を基に、学生が「何ができるようになったか」という起点であるディプロマポリシーから、学科単位でディスカッションをし、ルーブリックを作成してポスター発表を行った。学科ごとのグループに分かれ、熱心に意見交換をする様子、真剣に話し合っている姿が見られた。

SD部門の午前の部は、小松茂喜氏(日本私立短期大学協会常任理事事務局長)による、「私立短期大学に関する状況報告」―昨今の高等教育及び私立大学等をめぐる議論を踏まえて―と題する研修会を実施する予定であったが、講演者の体調不良により中止となった。午後の部は、近美智子氏(株インソース契約講師)による「コミュニケーション研修」が行われた。相手(学生等)の考えを尊重した上で自分の考えを誠実に、率

附属高校 学校見学会開催

附属高校の平成29年度「学校見学会」が、9月10日に開催され、郡山市内はもとより県内外各中学校から中学生、教員、保護者、学習塾関係者合わせて約500名が本校を訪れた。

全体会は建学記念講堂大ホールにおいて、放送部員の櫻田裕美、室井愛理の楽しい進行で進められた。最初に佐々木貞子校長より歓迎の言葉、その後、中山優花生徒会会長の歓迎の挨拶があり、引き続き本校生徒代表(普通科・井田二千果、音楽科・大山美咲、美術科・永山美智佳、食物科・木幡真矢乃)によるビデオとパワーポイントを用いたの各科の説明が、高校生活の実体験を踏まえ親しみやすい内容で行われた。その後、昨年度から始めた高校生入試サポーター講座の説明が昨年度参加生徒からなされ、午前中の全体会が終了した。

午後、参加者は希望に応じて施設自由見学、3学科授業体験・部活動体験の各グループに分かれて附属高校の活動を体験した。特に、音楽科・美術科・食物科では、実習や実技を通して高校の授業の一端を肌で感じ取ることができ、中学生は満足した様子であった。また、午後から行われた希望者による部活動体験では、高校生の力あふれる演技や動きに圧倒される様子が見られた。

また、交流会会場では、本校生徒と参加中学生による、高校の生活全般にわたつての様々な意見の交換が行われ、活発な交流が行われた。これらの体験が、中学生の進路選択につながっていくことを期待したい。



全体会の様子

開成いすず会誕生

学校法人郡山開成学園同窓会 開成いすず会誕生

大学・短大・附属高校の3同窓会は連携強化を図るため、平成30年4月1日から「郡山開成学園同窓会 開成いすず会」として活動する予定。従来は大学、短大、高校の同窓会は独自に活動していたが、「同窓会館」の完成を機に合同で活動することとなった。合同での活動により同窓会館を起点として事業の活性化と速やかな情報発信を図る。



多くのことを学んだグローバル・レディ育成研修

グローバル・レディ 育成研修に参加して

大学家政学部 食物栄養学科2年 倉澤 美歩

私達は、8月28日から8日間グローバル・レディ育成研修ツアーに参加しました。最初の4日間のホームステイでは、楽しみの傍ら現地の方と意思疎通ができるの不安でしたが、実際に経験すると難しさの反面、完璧な文でなくても意思疎通ができる事を知り、これから英語を勉強する上でとても勉強になりました。

ホテルでは、パールハーバーを訪れた事に感銘を受けました。実際に目で見てみると、戦艦に残った傷跡がこの戦艦が戦争に加わっていた事を生々しく示しており、改めて戦争の残酷さと悲惨さを、身をもって感じました。

今回研修に参加し、多くの事柄を学ばせて頂くことができ、このような貴重な機会を与えてくださった多くの方々へ感謝いたします。

平成30年度入学者選抜日程

●募集人員

【大学院】

本大学院は、本大学家政学部人間生活学科及び食物栄養学科を基礎に、人間生活学研究科人間生活学専攻の修士課程(2年)、さらに博士(後期)課程(3年)を設けている。

○人間生活学研究科

修士課程10名(含昼夜開講制)
博士(後期)課程3名

【大学】

家政学部人間生活学科40名
(生活総合コース10名・建築デザインコース10名・福祉コース20名)
家政学部食物栄養学科80名

【大学3年次編入】

本大学では、両学科とも3年次への編入を認めている。募集人員は両学科とも各10名。

短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程を卒業、修了または見込みが条件であるが、同等以上の学力があると認められた者も出願できる。

【短期大学部】

健康栄養学科……………70名
幼児教育学科……………140名
音楽科……………30名
地域創成学科……………80名
【専攻科文化学専攻】

平成30年度 入学者選抜日程					
	選抜方法	願書受付期間	選抜日	可否通知発送日	手続き締切日
大 学	指定校推薦生・特待生 公募推薦生Ⅰ期 特別生Ⅰ期	10/13(金)～10/25(水)	11/4(土)	11/13(月)	11/27(月)
	高大連携生	10/13(金)～10/25(水)	11/2(木)	11/13(月)	11/27(月)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/17(金)～11/29(水)	12/9(土)	12/18(月)	1/4(木)
	一般生Ⅰ期	1/5(金)～1/17(水)	1/27(土)	2/5(月)	第1回 2/16(金) 第2回 3/16(金)
	一般生Ⅱ期	1/26(金)～2/7(水)	2/16(金)	2/26(月)	第1回 3/8(木) 第2回 3/16(金)
	一般生Ⅲ期 ※大学のみ	2/9(金)～2/21(水)	3/2(金)	3/7(水)	3/16(金)
短 期 大 学 部	指定校推薦生・特待生 公募推薦生Ⅰ期 特別生Ⅰ期	10/13(金)～10/25(水)	11/4(土)	11/13(月)	11/27(月)
	高大連携生	10/13(金)～10/25(水)	11/2(木)	11/13(月)	11/27(月)
	公募推薦生Ⅱ期 特別生Ⅱ期	11/17(金)～11/29(水)	12/9(土)	12/18(月)	1/4(木)
	一般生Ⅰ期	1/5(金)～1/17(水)	1/27(土)	2/5(月)	第1回 2/16(金) 第2回 3/16(金)
	一般生Ⅱ期	1/26(金)～2/7(水)	2/16(金)	2/26(月)	第1回 3/8(木) 第2回 3/16(金)
	AO生Ⅲ期 ※短大のみ	2/9(金)～2/21(水)	3/2(金)	3/7(水)	3/16(金)

短期大学の専門教育の基礎の上に

より専門的知識を体系的に学んで総合的な判断力・豊かな人間性を培う。大学評価・学位授与機構の審査をパスすると「文学士」の学位を得ることができる。

●選抜方法

推薦生(特待生・指定校・公募)特別生 専門・総合学科/高等専門学校/専修学校/社会人/高認合格者/外国人留学生/帰国子女
高大連携生(本附属高校生)
AO生(自己推薦)

●選抜日程(別項参照)

●AO生選抜日程 I期・II期募集終了。

III期は短大のみ実施いたします。

附属高等学校

平成30年度入学者選考に関する日程

平成30年度郡山女子大学附属高等学校入試内容説明会が、9月15日、建学記念講堂小ホールにおいて開催され、県内中学校の進路指導関係の先生方、塾関係者が来校した。

お昼に食物科による会席弁当を試食して頂いた後、5校時目の授業を公開授業とし、中学校の先生方に校舎内を移動しながら各授業を参観して頂き、それぞれの中学校の卒業生が授業に参加する姿を見て頂くことができた。

全大会では佐々木貞子校長が、本校の教育内容や新たな取り組みについて説明し、次いで、平栗洋三教頭から、平成30年度入学者選考要項についての説明がなされた。

そして最後には、八巻好照高校事務室長より、本校の授業料や奨学金制度についての説明がなされて幕を閉じた。

就職部より

日本経済は緩やかな景気回復傾向にあり、人手不足も目立ち求人情件数も多く、今年の就職環境は、学生にとつてかなり良好な「売り手市場」だと言える。職種により差はあるが、福島県内の景況感もやや改善されている。すでに就職内定が出ている学生の中には、選択に迷っている学生もいる。

今年から就職部でインターンシップ(キャリアデザインII)を、選択科目で実施している。受講している84名(大学3年・大学2年・短大1年)の学生は8月の夏季休暇に就業体験を行っている。受け入れ側企業の方も、

■平成30年度入学者選考に関する日程一覧

選考種類	専願推薦生	併願推薦生	特待生	一般生
出願期間	平成30年1月9日(火)・10日(水)			
選考日	平成30年1月17日(水)		平成30年1月17日(水) 18日(木)	平成30年1月18日(木)
合格発表日	平成30年1月25日(水) 12:00			
入学 手続き日	平成30年 1月26日(金) ～2月6日(火)	【第1次】 平成30年1月26日(金) ～2月6日(火) 【第2次】 平成30年1月26日(金) ～3月15日(木)	平成30年 1月26日(金) ～2月6日(火)	【第1次】 平成30年1月26日(金) ～2月6日(火) 【第2次】 平成30年1月26日(金) ～3月15日(木)

学生の状況を考慮して、特別のプログラムを組みながら対応していただき、心から感謝を申し上げます。就業体験先の巡視をしていると、「とても楽しい」と学生の絶賛の声も聞かれた。また、多くの職場で卒業生が活躍しており、責任者として後輩を指導している光景に出会い、本学の教育と歴史を感じる瞬間でもあった。このインターンシップが学生の学習意欲の喚起となり、今後の職業選択にも役立つことを願っている。また、時代と共にインターンシップの位置づけが大きく変化している。

今後とも大学4年生・短大2年生の未内定者の就職支援を行う傍ら、大学3年・短大1年の就職活動に向けての各種講座・就職ガイダンスを実施していく。来年の2月のキャリアアップセミナーでは、NHKとの企画でデザイナーのコシノジュンコ氏の講演を実施する。

昨年度の就職率、大学100%、短大99.5%だったが、今年度は大学・短大共に全員就職を達成して、就職の先にある幸せを実現してほしい。

附属幼稚園同窓会が開かれました

卒園児のお子さん達が待ちに待っていた、附属幼稚園同窓会が、今年も7月31日に行われました。今年も小学校1年生から中学生まで、100名を超える同窓生が来てくれました。

今年には園舎の工事の関係で活動場所が制限されましたが、それを逆手にとつて、例年とは違うコーナー活動で楽しむことが出来ていた様です。建学記念講堂バックホワイエでの運動遊びや、魚作りコーナー、そしてみんなで楽しんだアイスタイム!



元気だった?

皆さん遊んだ後には、お待ちかねのラリーイス。何度もおかわりをしてきたお子さんいました。良い夏の思い出になったのではないかと思います。



早朝保育(7:40)や、延長保育・学童保育(19:00まで)といった子育て支援もしております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

10月2日から
願書受付開始
附属幼稚園

本園では10月2日(月)より、平成30年度入園願書及び2歳児クラス入室願書も受け付けます。

お子さまたちが安心して心ゆくまで遊び込むことができる生活の場である幼稚園。本園は緑豊かな広い園庭と、細やかな配慮をもつてしっかりと遊び込める環境を整えています。また、道路面との隔離や守衛の配置、学園と一体となった除染対応など、安全・安心を考慮した「お子さまのための保育」を大切に考えております。



建築CADで理想のリビング作りを体験

●大学／人間生活学科

「空間をデザインしてみませんか？建築CAD体験」CADはコンピュータを用いて設計するソフトのことで、建築では欠かすことのできないツールの一つ。建築CADで理想のリビング作りを体験した。

●短大／健康栄養学科 (旧短大食物栄養専攻)

「乳酸菌入りチョコレートを作ってみよう!!」乳酸菌の健康パワーが注目されている。乳酸菌入りのチョコレートを作って試食した。



乳酸菌入りのチョコレートを作って試食

●短大／幼児教育学科

「造形あそび」子どもの身近にあるクレヨン等の色材を使った描画表現、折り紙やさまざまな素材を活用したものづくりを体験した。上手にはなく、表現する楽しさを味わった。



もの創りを体験

●短大／音楽科

音楽の基礎となるソルフェージュの公開レッスン。リズム打ち、単旋律複旋律、四声体聴音、新規視唱など、音楽の基礎となるソルフェージュの授業を公開した。



ソルフェージュについて説明された

●短大／地域創成学科

来年4月に開設予定の新学科。文化・歴史・アート&デザイン・ビジネス・情報について、興味や目的に合わせた柔軟な学びを支援。「ユニット制」や目指せる将来や資格などの魅力を紹介した。



来年4月に開設予定の学科について説明

●全国大会に出場

バレーボール部

宮城県多賀城市総合体育館で開催されたインターハイに福島県代表として出場してきました。部員26名がチームのスローガンでもある「信」を志し、全国で戦えるチームを目指し、毎日の練習に取り組んできました。予選グループを勝ち進み、昨年より一上上の決勝トーナメント2回戦まで進み、九州の強豪校と戦ってまいりました。大会を通じて全国の力を知ると共に私たちが全国で勝ち進んでいくために必要な多くの課題を見つけたことができました。私たちはたくさんの方々に支えられ、応援して頂けることに心から感謝しています。これからも全国ベスト16を目指し、チームワークを大切にして頑張つてまいります。皆様のご支援、ありがとうございます。



福島県代表として堂々と戦った26名

●新体操部



24名で戦った地元での全国大会

今年度は、県大会において7年連続16度目の優勝を成し遂げての全国インターハイ出場となりました。

「繋がる絆 みせよう僕らの若さ」力くのスローガンのもと、山形県で行われた東北北インターハイの会場では、東北の顔な北の先生方や東北の新鮮な仲間との支えにより、心強い気持ちで大会に臨むことができました。地元福島県内や学校内においては「はばたけ世界へ、東北北総体」の旗やポスターなどがあり、記念すべき東北でのインターハイ出場を嬉しく思いました。また、壮行会や演技会では皆様からの応援をいただき、よりいっそうの自覚を持って臨むことができましたと思えます。

●ハンドボール部

私たちは「苦しいときこそ前を向く」のスローガンのもと、辛く厳しい練習に耐え、3年連続3回目の出場を果たすことができました。ハンドボール競技は地元福島市での開催ということもあり、ベスト8以上を目指し日々全力で取り組んでまいりましたが2点差で1回戦敗退というとても悔しい結果となってしまいました。大応援団の声援の中、最終リードされる苦し展開でしたが、私たちは決して諦めず、最後まで戦つてまいりました。



初出場の喜びを胸に戦った16名

●マーチングバンド部

私たちマーチングバンド部は、「明るいバンド、強いバンド、人間性あふれるバンド」をモットーに日々練習に励んでいます。今年度は「挑戦」をスローガンに掲げ、何事にもチャレンジする気持ちを忘れずに活動してきました。

●市民講座「暮らしのページ」開催される

大学家政学部人間生活学科主催の市民講座「暮らしのページ」が、7月22日(土)、創学館3階で開催された。今年で5回目。講座では、生活総合コースの安田純子教授が「ワーク・ライフ・バランスの推進」、福祉コースの熊田伸子准教授が「自分を生かす地球を支える」、建築デザインコースの山形敏明教授が「失敗しない家づくりリフォーム編」と題し、それぞれに講演した。会場には多数の市民や学生が詰めかけ、メモを取るなど熱心に聞き入っていた。

●子どもたちの学習支援

学習支援の取り組みについて郡山市と協定を結んでいる、本大学・同短期大学の学生ボランティアによる学習支援が8月7日、桑野公民館で行われた。学生4人



みやぎ総文レイド後の一息



見事なスパイク目黒選手

NEWS 特集 私たちの学園 郡山女子大学大学院 郡山女子大学 郡山女子大学短期大学部 平成29年度オープンキャンパス

進学を希望する高校生と保護者、高校教員を対象とした平成29年度オープンキャンパスが6月11日、7月8日・9日、9月3日に開催された。10月7日・8日のもみじ会当日にもミニオープンキャンパスが予定されている。模擬授業に出席し、施設を見学して志望学科の先生方や在学生のメーブルガールと語り合ったりできる唯一の機会。東北各県や新潟、北関東などから多数参加した。各科が実施した7月8日・9日の模様を紹介する。

●全国大会出場

バレーボール

監督 佐藤浩明 佐々木淑子 選手 橋本美久 野原彩衣 橋本菜々 佐藤菜葉 菅野日菜 井上美香 日黒愛梨 佐藤麗奈 細山 凛 上原成未 朝倉未未 佐藤愛海 岡部花歩

卓球部 (郡山総合体育館)

監督 深谷純子 選手 小林菜歩 押山桜月 菊田菜奈 長谷川春佳 伊藤笑 国分陽奈 高橋海里

女子テニス部

監督 平岡法子 芳賀久美子 選手 渡辺柚芽理 星妃羅良 中倉桜都 二瓶萌椰 金沢萌桃 福永英巳 矢代優月 五十嵐由

ハンドボール部 (あつま総合体育館)

監督 冨本栄次 水沢成宏 萩谷帆乃香 選手 渡辺美紅 矢作 陽 坂牧朋奈 古川春香 佐藤愛水 武田真央 根本奈々 後藤里紗

道・駒大苦小牧

▽女子シングルス2回戦 国分陽奈0-3桑原穂実(埼玉・正智深谷)

●新体操

監督 深谷純子 選手 小林菜歩 押山桜月 菊田菜奈 長谷川春佳 伊藤笑 国分陽奈 高橋海里

●ポウリング

▽成年女子 大河内未来(大食・3年) 国体7年連続出場。

●女子

▽女子 高飛込 19位

●水泳競技大会

▽3m飛板飛込 15位

●陸上競技県南地区大会

▽女子100m 4位 郡司 彩佳(高2年)

●第93回日本学生選手権

▽女子 高飛込 19位

●卓球部



東北の地で精一杯の演技を披露

郡山総合体育館で行われた全国高校総体卓球競技大会に、学校対抗(ダブルス2組)・シングルス2名の対戦となった学校対抗は3時間を超える熱戦の末、惜敗となりました。個人戦もそれぞれが感謝の気持ちを胸に、最後まで自分らしいプレーをすることができました。念願であった地元郡山でのインターハイ出場を果たし、多くの声援を受けてプレーすることができたのは、たくさんの方々のサポートのおかげです。今後も感謝の気持ちを忘れず、さらに練習に励んでまいります。応援ありがとうございます。

学校 法人 郡山開成学園

平成28年度 事業報告

一、法人の概要

(1) 建学の精神
「自由」を教育目標としている。
それは、お互いの個性を尊重し、敬愛
できる豊かな人柄を創り他者において
それを認めること、そして、人間と
して存在するためには、責任ある行動
で社会への自覚を持つこと。つまり、個
性を重視し、互いに理解する「個の確
立」と「他との協調」をもって、自主・自
立できる女性としての人間育成を
図るの目的である。

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・
責任・自由」と学園の基本方針であ
る「品位高尚」「秩序儉約」「創造自
立」をもとに、それぞれの学科・部署に
おいて計画した教育・運営に関する事
項を実施した。
※教育等実施内容
各部署毎に年度当初に立てた計画
に基づき、計画(Plan)、実施(Do)、
評価(Check)、改善(Act)のPD
CAサイクルに従い、教育活動並びに
事務活動を行った。

○設置学校名
郡山女子大学大学院
開設：修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月
郡山女子大学
開設：昭和41年4月
郡山女子大学短期大学部
開設：昭和25年4月
郡山女子大学附属高等学校
開設：昭和32年4月
郡山女子大学附属幼稚園
開設：昭和30年4月
○学校長名
郡山女子大学
学長 関口 修
郡山女子大学短期大学部
学長 関口 修
郡山女子大学附属高等学校
校長 佐々木 貞子
郡山女子大学附属幼稚園
園長 賀門 康博

○在籍数一覧 表①参照
(4) 役員・教職員
理事10人・監事2人・評議員21人

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数(1,241名・前年度比44名増) 学則等収容定員(2,509名) 単位名

Table with columns: 課程名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (修1, 修2, 博1, 博2, 博3, 合計), 収容定員. Rows: 修士課程, 博士課程, 合計.

Table with columns: 学科名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 合計), 収容定員. Rows: 家政科, 福祉情報, 食物栄養, 幼児教育学科, 生活芸術科, 音楽科, 文化学科, 合計.

Table with columns: 専攻科, 在籍数, 在籍園児数 (男, 女, 合計), 28年4月入園児数, 収容定員. Row: 文化専攻科.

Table with columns: 学科名, 在籍数, 入学定員, 編入定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 3年次, 4年次, 合計), 収容定員. Rows: 人間生活学科, 食物栄養学科, 合計.

Table with columns: 年齢別, 在籍数, 在籍園児数 (男, 女, 合計), 28年4月入園児数, 収容定員. Rows: 3才児, 4才児, 5才児, 合計.

Table with columns: 学科名, 在籍数, 入学定員, 在籍学生数 (1年次, 2年次, 3年次, 合計), 収容定員. Rows: 普通科, 音楽科, 美術科, 食物科, 合計.

表② 教職員318名【教育職員256名 事務職員62名】

Table with columns: 学校別, 教員数, 職員数, 非常勤講師, 合計. Rows: 郡山女子大学, 郡山女子大学短期大学部, 郡山女子大学附属高等学校, 郡山女子大学附属幼稚園, 計.

☆福島学習センター出向職員 4名 ☆時間雇用職員 6名

○その他の実施内容
・新入生説明会
・職員会議・運営委員会(月1回開催)、教育実習、進学相談会、考査、実力テスト、健康診断、校内合唱コンクール、校内球技大会、定期演奏会、卒業発表会、卒業作品展など
(4) 附属幼稚園
本園は、「よくみる よくきく よくかかえて」を教育目標として、園児にきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。
○実施した主な事業
・第62回入園式

・創立記念日のお集まり
・学園教育充実研究会(幼稚園の部)
・平成29年度入園説明会(2回)
・附属幼稚園運動会(第二体育館)
・平成29年度入園面接・1日入園
・第62回卒園式
○その他の実施内容
春・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏季保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおまつり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマイクラブ、父母会、避難訓練(2回実施)
(5) 家庭寮(28年度当初在寮生75名)
新入寮生オリエンテーション、リーダー会議、入寮生歓迎会、お茶会、七夕会、いも煮会、クリスマス会、避難訓練
(6) 大学図書館(高校分館を含む)
・本学図書館高大連携打合せ会
・運営委員会・土曜開館・蔵書点検
(7) 保健室
定期健康診断実施(大学・短大生・高校生・園児・教職員)
(8) 学園創立者関口育英奨学生の採用
(9) 学生・生徒・園児募集
① 大学・短大進学相談会
② 高等学校訪問 ③ 中学校訪問
④ 園児募集(パンフレット)
⑤ 大学・短大オープンキャンパス
⑥ 高校入試内容説明会(アドミッション・ポリシー)

○その他の実施内容
・環境委員会とNLS部が、福島県環境創造センター及びJAEA福島環境安全センターと連携により「放射線除染における環境再生(3年継続)」をテーマとして「もみじ会」で発表 他
(14) その他資料
※家族会等
・家族会役員・常任委員会合同委員会
・家族会総会
・家族会方別教育懇談会(開催時期は6月下旬から7月下旬)
※芸術鑑賞講座
① ベルリン交響楽団
② 学園美術系教職員作品展
③ 劇団四季「ウエストサイド物語」
④ ヴォーチェス・エイト「クリスマスコンサート」
※教養講座(第1回～3回)
① 「自然を生かした建築」
② 「発掘ガールと考古学」
③ 「よろこびを力に」

Ⅲ期選抜実施
・大運動会
・平成29年度入園式
・指定校生・公募推薦生Ⅰ期・特別生Ⅰ期「選抜実施」
・平成29年度入園式
・短大「公募推薦生Ⅱ期・特別生Ⅱ期・専攻科Ⅰ期」大学院Ⅱ期選抜実施
・平成29年度入園式
・短大「一般生Ⅰ期・Ⅱ期・大学3年次編入Ⅱ・Ⅲ期」選抜実施
・大学第48回、短大第66回、専攻科第16回卒業式
○その他の実施内容
主任・大学・短大教授会・研究科委員会(月1回)、入試判定委員会、学生生活委員会、就職対策委員会、担当者会議、期末試験、教育実習、定期演奏会、卒業研究発表、健康診断、学生相談、教育課程体験事前指導、就職ガイダンス、職業適性検査
※平成28年度卒業生就職状況
【大学】卒業生数82人中
就職希望者76人中就職決定者数76人(就職率100%)
【短大】卒業生数218人中
就職希望者196人中就職決定者数195人(就職率95%)
(3) 附属高等学校
「私を創るー未来の私を考えてー」という努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標を設定し、高校生生活をより有意義に送るために、生徒の自己啓発と自発性を育成。
○実施した主な事業
・第60回入学式・関口育英奨学金認定式
・学校見学会
・第54回東北地区私学研修会
・入試内容説明会・個別相談会(2回)
・修学旅行(第2学年)
・入学者選考会・第58回卒業式
・新入生説明会
○その他の実施内容
職員会議・運営委員会(月1回開催)、教育実習、進学相談会、考査、実力テスト、健康診断、校内合唱コンクール、校内球技大会、定期演奏会、卒業発表会、卒業作品展など
(4) 附属幼稚園
本園は、「よくみる よくきく よくかかえて」を教育目標として、園児にきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。
○実施した主な事業
・第62回入園式

・創立記念日のお集まり
・学園教育充実研究会(幼稚園の部)
・平成29年度入園説明会(2回)
・附属幼稚園運動会(第二体育館)
・平成29年度入園面接・1日入園
・第62回卒園式
○その他の実施内容
春・秋の遠足、保育参観、お泊り保育、預り保育、延長保育、夏季保育、七夕、はくとわたしのさくひんてん、クリスマス会、おもちつき、節分のおまつり、お別れ会食、親子パーティー、発表会、園庭整備、父母の講座、KGCマイクラブ、父母会、避難訓練(2回実施)
(5) 家庭寮(28年度当初在寮生75名)
新入寮生オリエンテーション、リーダー会議、入寮生歓迎会、お茶会、七夕会、いも煮会、クリスマス会、避難訓練
(6) 大学図書館(高校分館を含む)
・本学図書館高大連携打合せ会
・運営委員会・土曜開館・蔵書点検
(7) 保健室
定期健康診断実施(大学・短大生・高校生・園児・教職員)
(8) 学園創立者関口育英奨学生の採用
(9) 学生・生徒・園児募集
① 大学・短大進学相談会
② 高等学校訪問 ③ 中学校訪問
④ 園児募集(パンフレット)
⑤ 大学・短大オープンキャンパス
⑥ 高校入試内容説明会(アドミッション・ポリシー)

○その他の実施内容
・環境委員会とNLS部が、福島県環境創造センター及びJAEA福島環境安全センターと連携により「放射線除染における環境再生(3年継続)」をテーマとして「もみじ会」で発表 他
(14) その他資料
※家族会等
・家族会役員・常任委員会合同委員会
・家族会総会
・家族会方別教育懇談会(開催時期は6月下旬から7月下旬)
※芸術鑑賞講座
① ベルリン交響楽団
② 学園美術系教職員作品展
③ 劇団四季「ウエストサイド物語」
④ ヴォーチェス・エイト「クリスマスコンサート」
※教養講座(第1回～3回)
① 「自然を生かした建築」
② 「発掘ガールと考古学」
③ 「よろこびを力に」

平成28年度 決算報告

学校法人郡山開成学園の平成28年度決算について、東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告、決定されましたので、その概要をご報告いたします。

平成28年度資金収支計算書において、前年度繰越支払資金を加えた資金収入合計は、3,768,334千円となり、予算より71,206千円上回りました。これは、主として、学生生徒等納付金収入、前受金収入では見込みを下回りましたが、補助金収入、雑収入等で見込みを上回ったためです。

資金支出は、施設関係支出、管理経費支出等で見込みを上回りましたが、その他の支出等で見込みを下回ったため、2,666,659千円となりました。その結果、翌年度繰越支払資金は、1,016,755千円となり、予算より49,422千円増となりました。

平成28年度事業活動収支計算書において、事業活動収入合計より事業活動支出合計が大きいこと、基本金組入前当年度収支差額は、△462,127千円となり、基本金組入額合計△5

① 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (収入の部) and (支出の部).

補助金収入(国庫補助金・県補助金収入)が見込みを上回りました。

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (収入の部) and (支出の部).

④ 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。平成29年3月31日現在

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Includes sub-section (資産の部) and (負債の部).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Includes sub-section (負債の部).

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Includes sub-section (純資産の部).

⑤ 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。平成29年3月31日現在

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 金額, 備考. Lists various assets and liabilities.

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (教育活動収支) and (特別収支).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (収入の活動) and (支出の活動).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (収入の活動) and (支出の活動).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Includes sub-section (収入の活動) and (支出の活動).

会計基準改正に伴う第4号基本金算定方法の変更により、前年度の保持すべき資金の額と当年度の計算額との差額を取崩したためです。

監査報告書

平成29年5月25日 学校法人 郡山開成学園 監事 橋本 忠雄 遠藤 武士

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事からの業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する事実はないことを確認いたしました。

② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 金額. Includes sub-section (教育活動による資金収支) and (その他の活動による資金収支).

わくわく子ども大学 in 郡山女子短大

8月6日(日)、第2回わくわく子ども大学 in 郡山女子短大が本学で開催されました。このイベントは地域貢献と郡山女子短大のPRを目的に行われ、県内の幼児・小学生201名と保護者80名が参加しました。当日は、15の体験ブースに分かれて子どもたちと短大生が一緒に楽しく活動しました。また、今年も地元

布引高原で キャベツの苗植え

短大福祉情報専攻の学生が、7月15日、湖南町の布引高原の畑で、キャベツの苗植えや布引大根の種を植えた。包括連携協定を結んでいるJA福島さくららの協力を得て、農業に触れてもらうと初めて実施された。学生20人が参加、地元元の農家に教わりながら土に親しみ、爽やかな汗を流した。収穫した野菜は10月7日・8日に行われる第71回もみじ会で販売される。



もみじ会が楽しみです

うねめ踊り流しコンクール 3年連続準大賞

商都郡山市の夏の祭典「第53回郡山うねめ祭り」のメイン行事「うねめ踊り流しコンクール」が8月4日・5日、郡山駅前大通りで行われ、本学園は3年連続準大賞に選ばれた。コンクールには郡山女子大・短期大学部・附属高校の学生・生徒・教職員517名が参加。お揃いの赤いTシャツ姿で見事な踊りを披露、観客から大きな声援が送られた。



来年こそ大賞に

BOOK 郡山女子大学 大学図書館

新しい本が届きました… 第5回



『あなたのキャリアの作り方』
ちくまプリマー新書272
浦坂純子著、筑摩書房
請求記号 081.111P1272

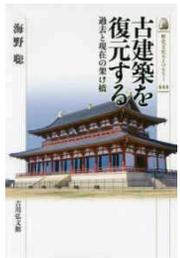
『食材の科学』

日経BPムック
日経ナショナル
ジオグラフィック社
請求記号 498.511N1



『古建築を復元する』

(歴史文化ライブラリー444)
海野聡著、吉川弘文館
請求記号 521.811U



『騎士団長殺し』 第1部

村上春樹著、新潮社
請求記号 913.611Mu



振興機構「子どもゆめ基金」より助成を受けて実施致しました。



楽しい子ども大学です

ベラルーシ派遣で学んだこと

附属高校3年 佐藤 彩乃

今回のベラルーシ派遣で、私は多くのことを学ぶことができました。文化や言葉が違っていても、お互いを尊重し合い、理解することが大切だということ、自分たちが当たり前だと思っていることでも、現地には現地の文化や習慣があり、私たちが異文化なのだと感じました。また、私たちが滞在した施設では、現地の子ども達や高校生と交流する機会がありました。その度に彼らのコミュニケーション能力の高さに驚きました。私たちが会う度に「ハロー」と挨拶を交わし、ハイタッチをしてくれました。言葉が通じなくても、

葛尾村の凍み餅商品

短大食物栄養専攻の学生が、葛尾村の特産凍み餅を使った商品を開発し、8月14日の葛尾村盆踊りで販売し、村の特産品としてアピールした。本学と葛尾村は包括連携協定を結んでおり、学生の手で村を盛り上げようと、学生の手で村を盛り上げようと、食物栄養専攻と凍み餅を使った商品開発に取り組んでいた。



凍み餅のアイデア料理

まずは何気ない一言や仕草からコミュニケーションが始まるということを実感しました。チエルノブイリと福島県原発事故をきっかけとして始まったこの派遣事業ですが、今後両国が良好な関係を続けていけることを心から願っています。



左から佐藤彩乃(高3)・鈴木希朋(高2)・石井玲名(高2)

紙上美術展 83

短期大学部 生活芸術科

郡山女子大学家政学部人間生活学科建築デザインコース3年生と短期大学部生活芸術科2年生が制作し、今年6月に開催された「第71回福島県総合美術展」に入選した彫刻作品です。彫刻は完成までに多くの時間と大変な工程を必要としますが、両作品とも素直な若々しさと清々しさが感じられる秀作です。



須賀 愛良

おおぞら
「昊」

高さ54×幅36×奥行25cm 石膏

何でもやってみようと思うような好奇心と海や青空のようなどこまでも続く自由さ、若い女性の生き生きとした感情を表現しました。



佐藤 野萌

「守りたいもの」

高さ100×幅110×奥行50cm 石膏

夢とその儚さをテーマに浮遊感のあるポーズを構想し、それを守ろうとする少女に自分の思いを投影しました。

木もれ陽

あれが阿多羅山、あの光るのが阿武隈川…
ここはあなたの生まれたふるさと…
(智恵子抄一文)

「山の日」が制定され今年で2年目。8月11日は各地でイベントが開催され、その報道にふと山々に目を向けた。学園からは雄大な安達太良山、磐梯山などが臨める。日本山岳会など山岳関連5団体が「山の日制定協議会」を発足させ、国民の祝日にするための運動が始まり「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ということで制定された。国土の約7割が山地を占める日本は、古来より山を崇め、山の恵みを受け自然と共存してきた。そし

てこれからも美しく豊かな自然を守り、次世代へと引き継がれていく。故名誉学園長関口富左先生は「自然を凝視して師としよう」を座右の銘とされ、「静かに自然と対峙して自然の懐に抱かれて、本来の人間性を呼び戻してみよう。自然は無言であつても必ず何かを発見させてくれます。」と記しておられた。いつも在るものだからこそ、時には意識し心委ねたい。ふるさとの山、安達太良を訪ねたことがない。関口富左先生は安達太良山を四季折々の表情を持つ美男と讃えておられた。いつの日かその雄姿を仰ぎ頂きたいものである。
(孝)